



未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南省立日枝中学校学校だより
令和4年(2022年)3月8日①

のがみがわ

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

節目の季節 どう締めくくるか

3年生にとっては、この「のがみがわ」を手にするのも今日の3月号が最終となりました。3年間この学び舎で、日枝中学校第39期生として義務教育課程を修了し、次のステージへ向けて巣立っていきます。明日、明後日は、いよいよ県立高校一般選抜、実技検査があります。そして、修学旅行の代替行事である大阪校外学習、土日を挟みその4日後には第39回目の卒業式を迎えます。また、その翌日には、県立高校の合格発表です。この1週間で受験、卒業式、そして合格発表と、人生の大きな節目を迎えることとなります。前号の2月号でもお伝えしたとおり、『自信を持って送り出せる3年生』として、この日枝中学校の伝統をしっかりと受け継ぎ、次の学年に繋いでくれました。ちょうど3年前、あなたたちが入学してきた日に、入学式の式辞で、当時の校長先生はあなたたちへ向けて次のような内容の話をされていました。

入学式での話(平成31年4月9日)

学校生活の根本においてほしい私の願いについての話をひとつだけしたいと思います。それは「仲間を大切にしてほしい」ということです。そしてそれは本校の先輩たちの姿として他のどの学校の生徒より確実に誇れると私が確信していることでもあります。本校生徒は人と人との愛にあふれた関わり方ができる力を持っていると思っています。簡単にいうと人なつっこく、学校では仲間を大事にする力があるということです。これは本校生徒が校風として先輩から引き継いでくれていることかもしれません。本校玄関に今も飾られている創立三十周年時の宣言文には「日枝中学校の仲間を大切にし、みんなが誇れる学校づくりをめざします」と決意が書かれています。その精神が先輩たちから引き継がれているように思います。

このことを受け、本校では授業でも学び合い学習という、4人組グループで仲間の意見や思いを聞き合う学習スタイルを取り入れています。自分の分かっていることは仲間に教え、苦手なこと分からないことは仲間に助けを求められる関係づくりを大切にしています。本校には外国から日本に来て間もない仲間がたくさんいることはよく知っているでしょう。言葉が分からず、日本の学校の仕組みやルールに戸惑っている仲間にそっと寄り添い、ゆっくり教え合う、聞き合う優しい仲間関係ができています。そうした生徒たちは学校の宝物であり、私は校長として誇りに思っています。

仲間を大切にしていよいよ集団を作り学びやすい学校を作ること、自分らしさと自分の持てる力が精一杯発揮できる仲間関係を作ることが大切だと思うのです。その土台があってこそ勉強や部活動などが生き生きとしたものになり自分の心と体の栄養になると信じます。そしてこのような思いやりと規律のある集団の中では「いじめ」は起こりません。みんなが安心して学校生活を送れるよう「仲間を大切にする心」を根本においてほしいと願っています。一日も早く学校に慣れて、日枝中学校をさらなる高みへ引っ張り上げられる仲間の一人となってください。

「仲間を大切にする心」を根本において学校生活を送ること。みんなが安心して学校生活を送れる学校づくりを生徒と先生方がともに力を合わせて取り組んでいくこと。あなたたちは、その先頭に立って少しでも全校生徒が安心に安全に学校生活を送れるそんな学校づくりに努めてくれました。

いよいよ日枝中学校での学びも1週間で切りました。県立の一般入試から発表まで、卒業式を間に挟み「激動の1週間」とも言われます。仲間との最後の1週間の過ごし方を考えてみてください。

戦争の醜さ 平和であるありがたみ

まさかこのような事態になるとは…。誰もが想像していなかったことが起こりました。国と国との争い、いわゆる「戦争」が始まってしまいました。新型コロナウイルスに脅かされ、悩まされ続けてきたこの2年間。我々の私生活、そして学校生活、ご家族の仕事等、今までにはなかった制限や生活そのもののしづらさを痛感した2年間でもありました。しかし、「朝の来ない夜はない」「夜の明けない朝はない」ものごとは、必ずいつかよい方へ変わると信じて日々生活をしているわたしたち。

いざ、戦争が起こってしまうと、この世にひとつしかない命が一瞬にして奪われる。しかも、大切な人の命までも簡単に奪い取ってしまう。残された家族の悲しみは消え去ることなく、悲しみを越えた怒りの矛先をどこへ向けていいのかわからない。人の手によって始められた争いは、人の手によってしか止められない。

争いごとから生まれるものは何もないはず。この世にひとつしかない尊い命は、地球の重さよりも重いとも言われます。戦争は醜さと憎しみを生み、平和であるはずの時の刻みを一瞬にして止めてしまいます。平和とは何か。何が自分たちにとって平和なのか。過去のことや遠い世界の出来事ではない気がします。私たちが生活している日本という国のことはもちろん、世界に目を向けてみることも、今何が起きているのか。なぜ、このような事態になっているのか。どうすれば争いごとがなくなり平和の日々が訪れるのか。他人事ではなく、自分のこととして捉える機会にしてほしいと思います。

多くの方々に支えられ見守られ~更正保護女性会の皆さんからの贈り物~



さる3月2日、湖南地区更正保護女性会の皆さんが本校に来校され、卒業を間近に控えた3年生に贈り物をしていただきました。

学校と更正保護女性会を結ぶ「愛の贈り物」活動として毎年素敵なプレゼントをしていただいています。今年度も心温かい応援メッセージが書かれたクリアファイルを卒業生全員に贈っていただきました。コロナ禍で思うような活動がお互いできない中ではありますが、地域で見守る立場として、何かできることがあれば、何なりと仰ってくださいと温かいお言葉も頂戴しました。人や物といった協力や支えもありが

たいことですが、何よりもこうした『心』の支えがありがたく、心が温まりました。本当にありがとうございました。

1年間ありがとうございました。

いつになれば、マスクを外せる通常の生活が戻ってくるのか。もはや、今の生活がこの先通常の生活となっていくのか。誰にも分からない手探りの2年間が終わろうとしています。経験したことを如何に次へ生かすか。世界中の人々が試行錯誤しながら、今を生きていると思います。新型コロナウイルス感染症により様々な場面で制約の多い中、登下校の見守りも含め、保護者の皆様には、一年間本当にお世話になりました。今までと変わりなく心温まる言葉がけや支援を続けてくださいましたことに、心より感謝申し上げます。収束の兆しが見えない中ではありますが、次年度も引き続き子どもたちの見守りやご支援をよろしくお願いいたします。



未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南市立日枝中学校学校だより
令和4年(2022年)3月8日②

のがみがわ

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

命の学習

■3年生「命の学習」を通して男性・女性としての責任のある生き方を考える■

3年生については、1年生の時からご指導いただいた、助産師である齋藤智孝さんから、大事な生き方としての「性」に関わる問題について話していただきました。性犯罪、性感染症・・・「若さゆえの過ち」では済まないことがあります。「相手にも気持ちがあることを大事にしてほしい、めんどくさいですまざる正しいことを知って、自分の思いを伝え、相手の気持ちにも耳を傾けてほしい。」と医療現場の様子を交えて話してくださいました。生徒たちも真剣に聞き入っていました。



■1年生「私もあなたも奇跡の存在」～命の学習1年生バージョン～■

1年生については、何億分の一、何兆分の一の奇跡的な確率で生まれた自分の命。そのお互いの奇跡的な出会いがあった今の仲間。命の不思議について改めて考える機会となりました。3年生でも講師として来ていただいた齋藤助産師さんに、「奇跡」として今ある自分の命、他の人の命を大切にしてほしいと語っていただきました。自分の命はお父さん、お母さんから受け継いだものであり、その両親は4人のおじいちゃん、おばあちゃんからリレーされたものである、たどっていくと何代か先にはとてつもない数字の祖先から受け継いだ今の自分の命であること、そして命の誕生には奇跡的な偶然が関与していることを「生命の神秘」として語っていただきました。バトンを受け継いだものとして次に確かにリレーできるよう自分の命を輝かせたいものです。今ここに生ある自分の奇跡的な存在に、非常に高い価値を感じてくれたようでした。



生徒会の取組

◆小学校6年生の体験入学について◆

2月21日、22日の2日間にわたり、下田小学校、水戸小学校の体験入学を実施しました。昨年度に引き続き、今年度も現在の小学校6年生の児童の皆さんには、日枝中学校の様子を直に味わってもらうことはできませんでした。その代わりとして生徒会執行部の人たちが限られた時間の中ではありますが、中学校生活の様子や部活動の様子を動画に編集して小学生に観てもらいました。下田小学校、水戸小学校ともにそれぞれの小学校体育館で中学校からの説明とともに動画による視聴をとおして、体験入学の代わりとしました。生徒会執行部作成の動画の出来映えは素晴らしく、体育館でその様子を観ていた小学生は、思わず身を乗り出して体育館ステージ上のスクリーンを食い入るように観ていました。生徒会執行部の皆さん、来年度入学してくる小学校6年生への素晴らしい動画作成、本当にありがとうございました。



◆ちょボラ活動について◆

日枝中学校恒例の「ちょボラ」活動が2月末に実施されました。今回は、全校生徒が1日2回は必ず通る場所、生徒昇降口の清掃活動に励んでくれました。昼休みの時間帯の活動ではありましたが、参加した生徒はそれぞれ自分の学年の下駄箱の中や水皿(みづら)の下をきれいにしてくれました。

来年度で40周年を迎える日枝中学校。全校生徒約300名として39年間。卒業生として送り出した生徒数は約12000人。1日2回39年間にわたり12000人の卒業生が、この生徒昇降口を行き来したことになります。



□今後のおもな予定について□

【3月】

- 9(水) 県立一般選抜
- 10(木) 県立一般選抜(実技検査)
- 11(金) 3年校外学習
- 15(火) 第39回卒業式
- 16(水) 県立一般選抜発表
- 23(水) ⑤期末保護者会・県立二次選抜・追検査
- 24(木) 修了式
- 25(金) 県立二次選抜および追検査発表
- 30(水) 特別追検査
- 31(木) 特別追検査発表

【4月】

- 8(金) 1学期始業式・入学式
- 12(火) 3年身体測定
- 13(水) 3年実力テスト
- 14(木) 第1回生徒会委員会・3年実力テスト
- *3年実力テストについては、13日、14日の2日間にわけて実施予定。
- 18(月) 第2回生徒会委員会
- 19(火) 全国学力・学習状況調査
2年校医検診(午後)

